



2020.4.1

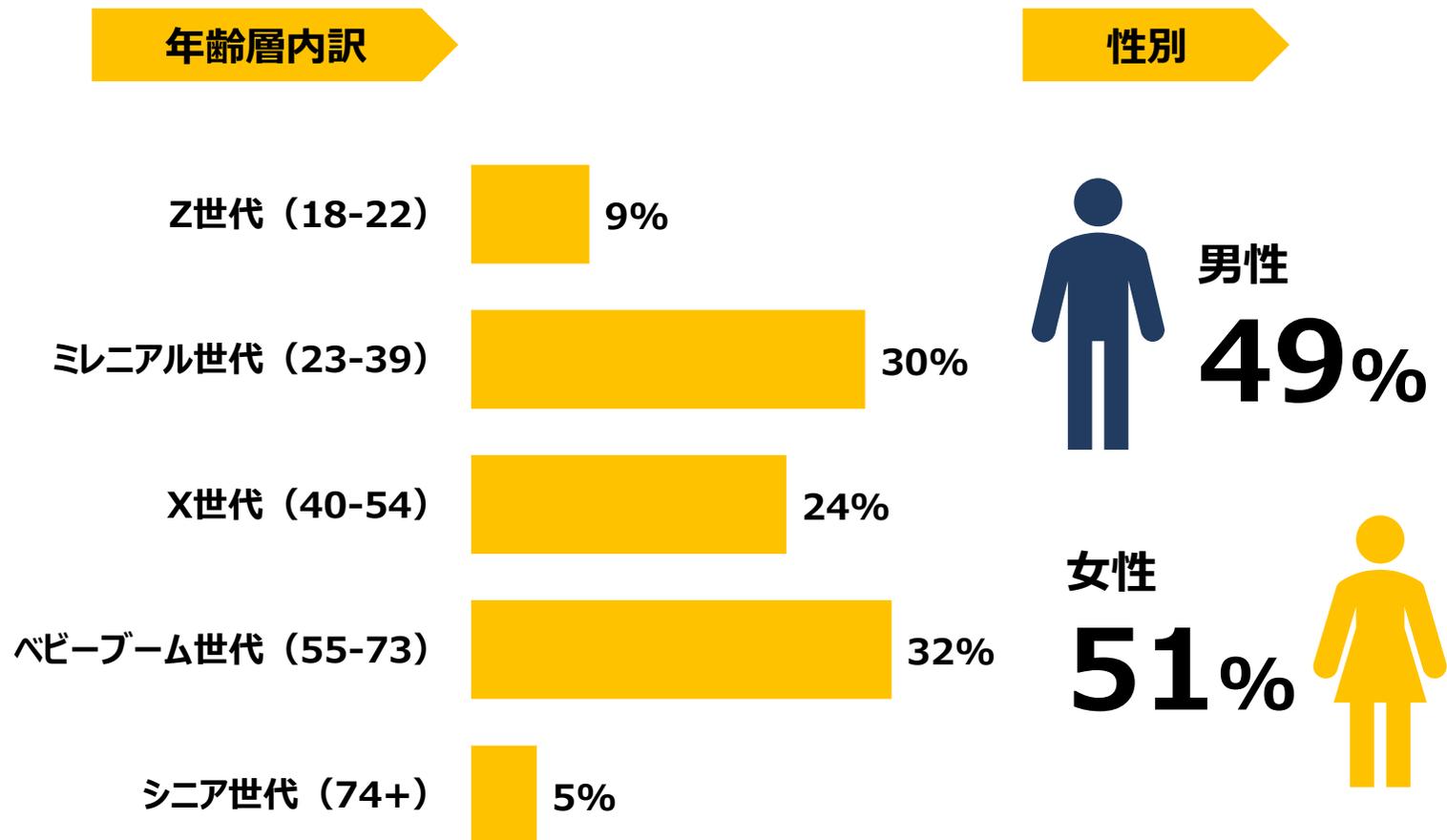
ノートンライフロック サイバーセーフティ インサイトレポート 2019

株式会社ノートンライフロック

マーケティング部 部長 古谷 尋

ノートンライフロック サイバーセーフティ インサイトレポート調査方法

手法	オンライン調査
実施期間	2019年11月5日～12月2日
調査対象国	全10か国 (オーストラリア、フランス、ドイツ、インド、イタリア、日本、オランダ、ニュージーランド、イギリス、アメリカ)
回答者	18歳以上の男女
回答者数	約10,063名 1か国あたり1,000名以上 (日本 1,002名)
調査機関	The Harris Poll (ノートンライフロックの委託による)

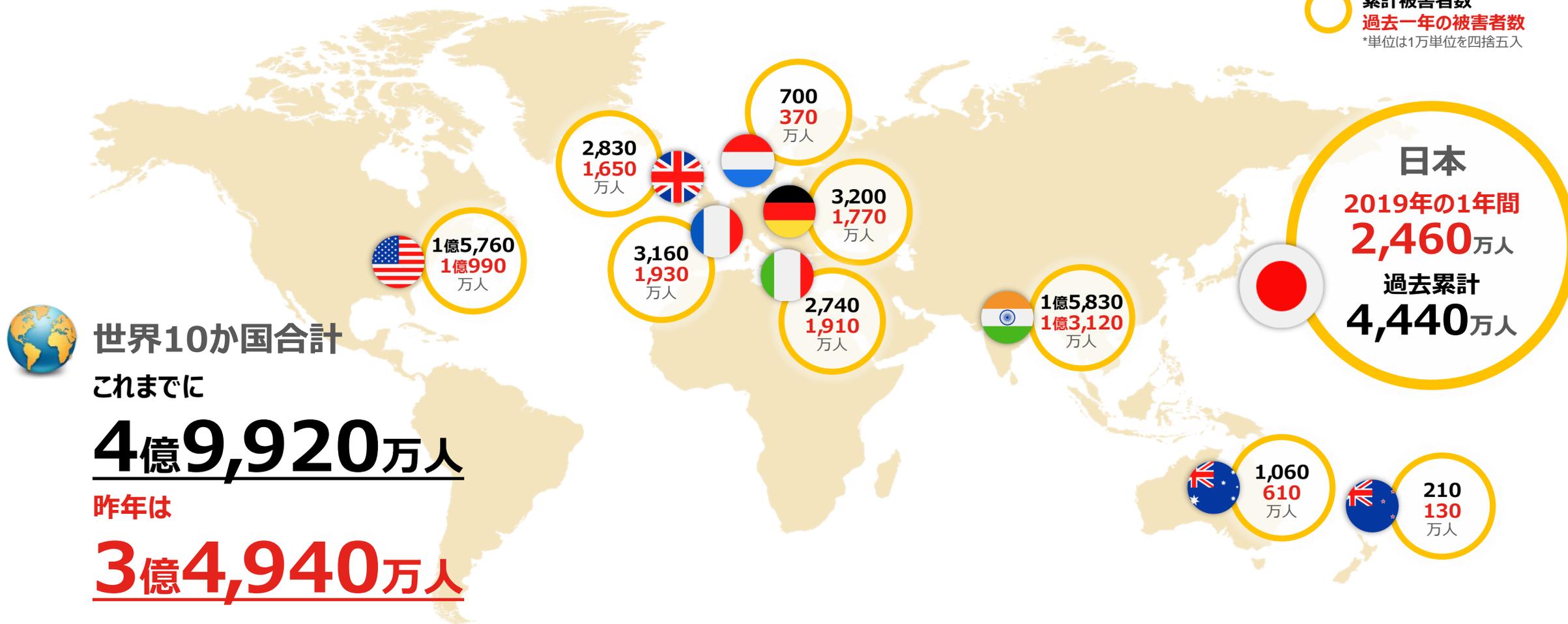


*データは人口の実際の割合に沿うよう、必要に応じて年齢、性別、人種/民族、地域、教育、雇用、収入、婚姻区分、インターネットの利用状況、言語能力、世帯規模、世帯収入、社会経済的状況、地域、オンラインになる傾向によって加重しています（インドはオンライン上の人口に加重しています）。また、各国の調査結果が均等に反映されるよう加重しています。理論的サンプリング誤差は考慮されていません。

全10か国におけるサイバー犯罪状況： 発生とその影響

サイバー犯罪の被害に遭ったことがある消費者は世界で約5億人* 2019年だけで世界で約3億5千万人、日本では2,460万人

○ 累計被害者数
 過去一年の被害者数
*単位は1万単位を四捨五入



世界10か国合計
 これまでに
4億9,920万人
 去年は
3億4,940万人

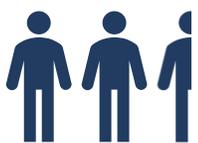
*10か国で調査を実施した2019年ノートライフロック サイバーセーフティ インサイトレポートより。2018年は16か国で調査を実施。



日本人の約半数がサイバー犯罪を経験 2019年の1年間では前年比約25%アップ

これまでにサイバー犯罪を経験したことがある日本人は約2.5人に1人

42%



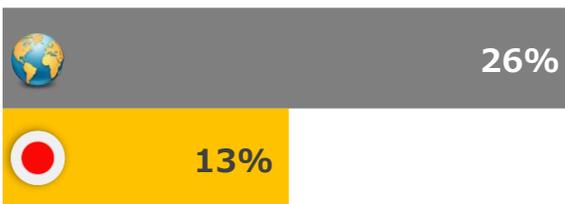
過去1年の間にサイバー犯罪を経験した日本人は約5人に1人

23%

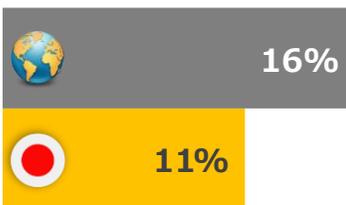


これまでに経験したサイバー犯罪トップ3 (世界統計 vs 日本)

コンピュータ、Wi-Fiネットワーク、スマートフォン、タブレット、スマートホーム、またはその他のコネクテッドデバイスで悪意のあるソフトウェアを検出



電子メールアカウントへの不正アクセスを検出



データ漏洩による個人情報流出



「サイバー犯罪経験者」国別割合

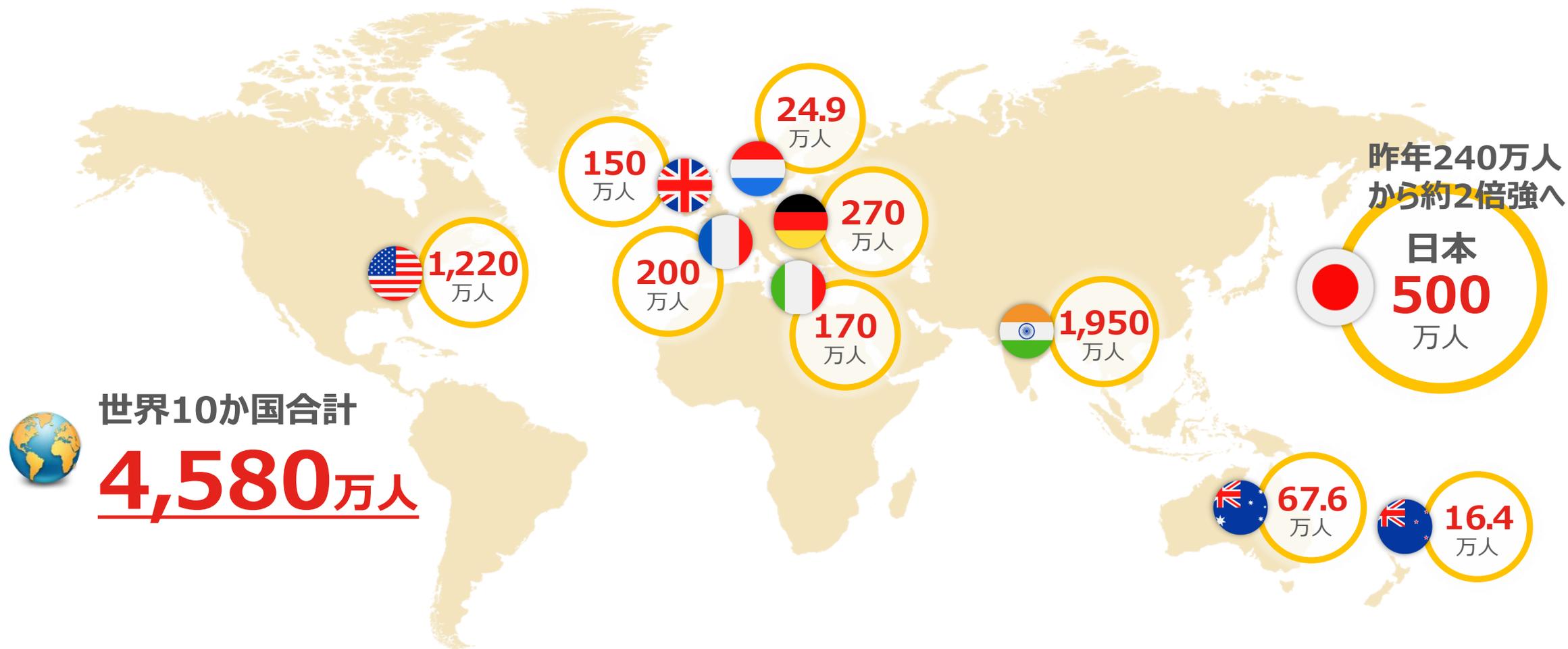
	累積	過去1年間
オーストラリア	57%	33%
フランス	60%	37%
ドイツ	47%	26%
インド	80%	66%
イタリア	53%	37%
日本	42%	23%
オランダ	51%	27%
ニュージーランド	59%	36%
イギリス	55%	32%
アメリカ	61%	43%

前年比
+25%

1,960万人から
2,460万人へ

個人情報盗難： 発生件数と盗難に対する考え方

2019年、個人情報盗難被害に遭った消費者は世界で約4,600万人*

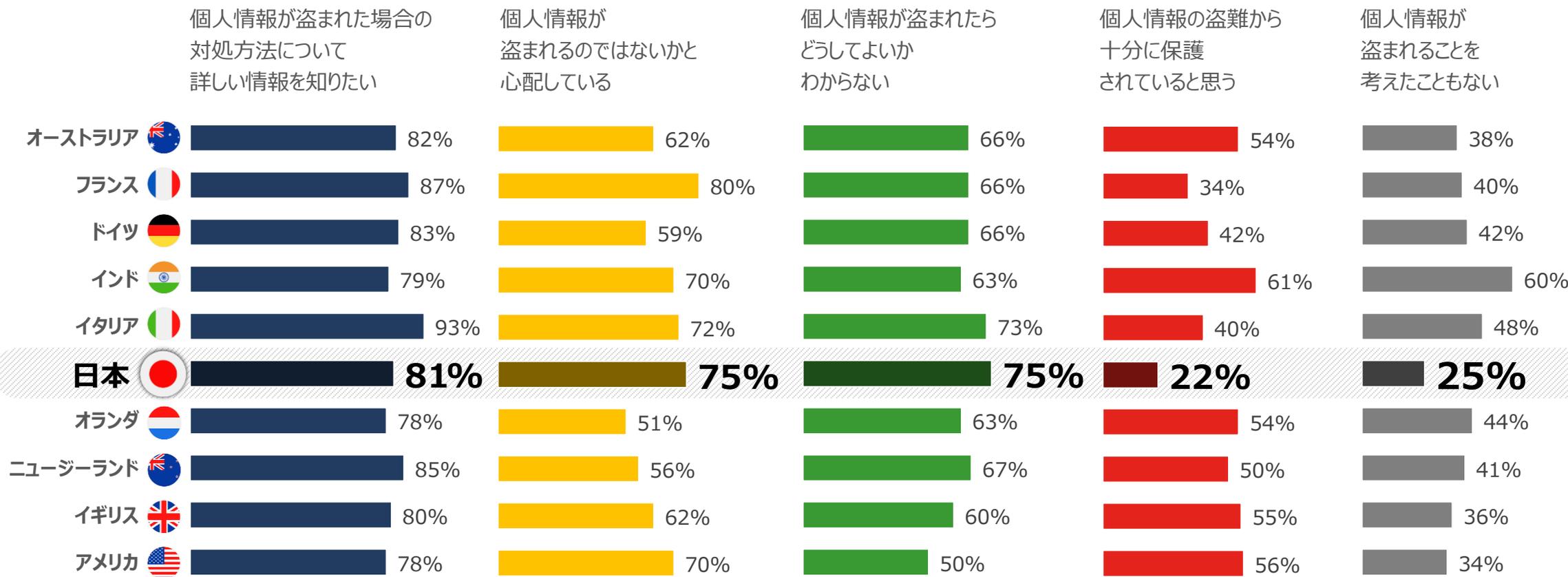


*対象は10か国



日本人は個人情報盗まれることを心配していて、 守られていると感じている人は最も少ない

「強く思う」と「やや思う」を合わせた国別割合



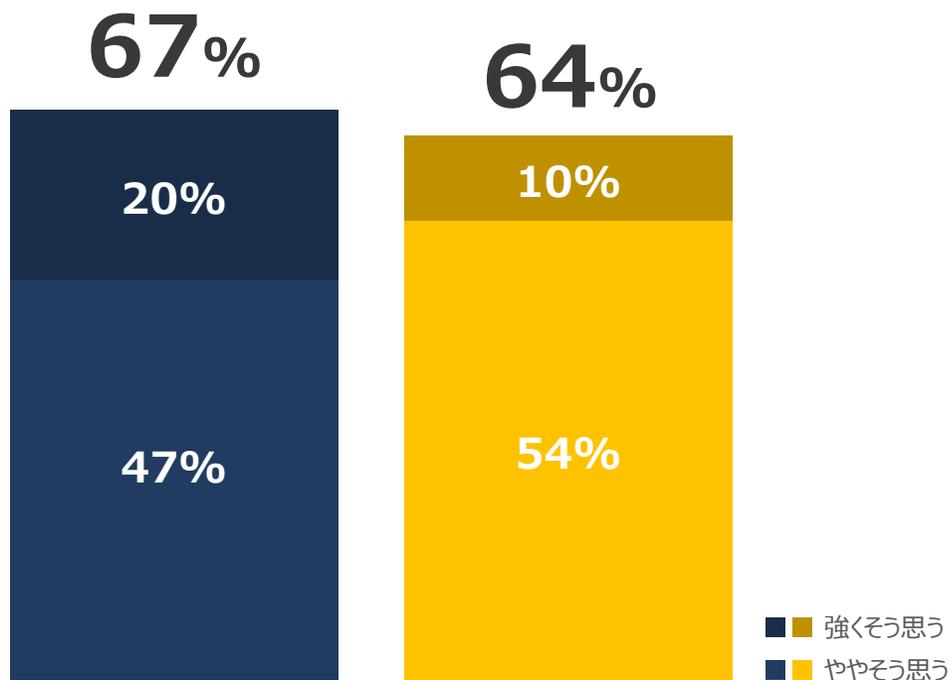
個人のプライバシーの保護



日本人はたとえ生活が便利になるとしても オンラインプライバシーが侵害されるリスクは取りたくない

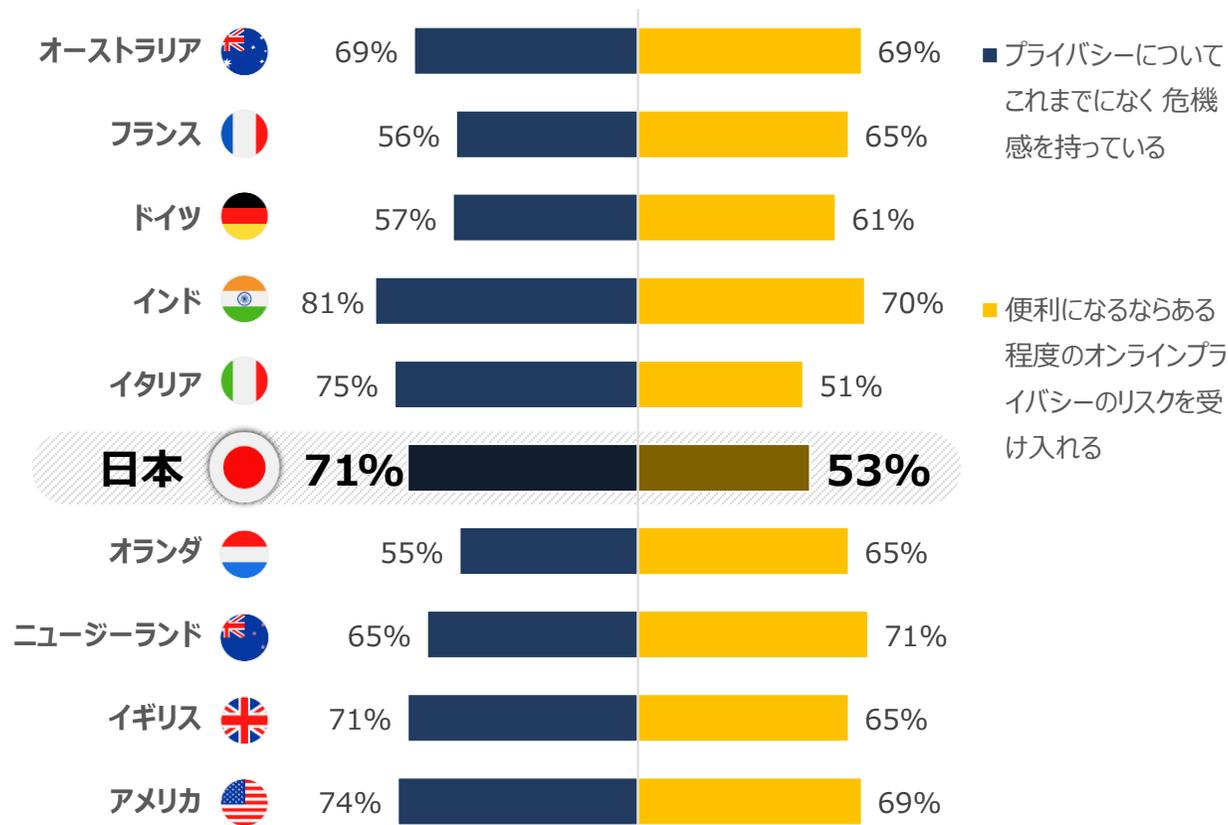
プライバシーについて
これまでになく
危機感を持っている

便利になるなら
ある程度の
オンラインプライバシーの
リスクを受け入れる



世界合計

「強くそう思う」と「ややそう思う」を合わせた国別割合

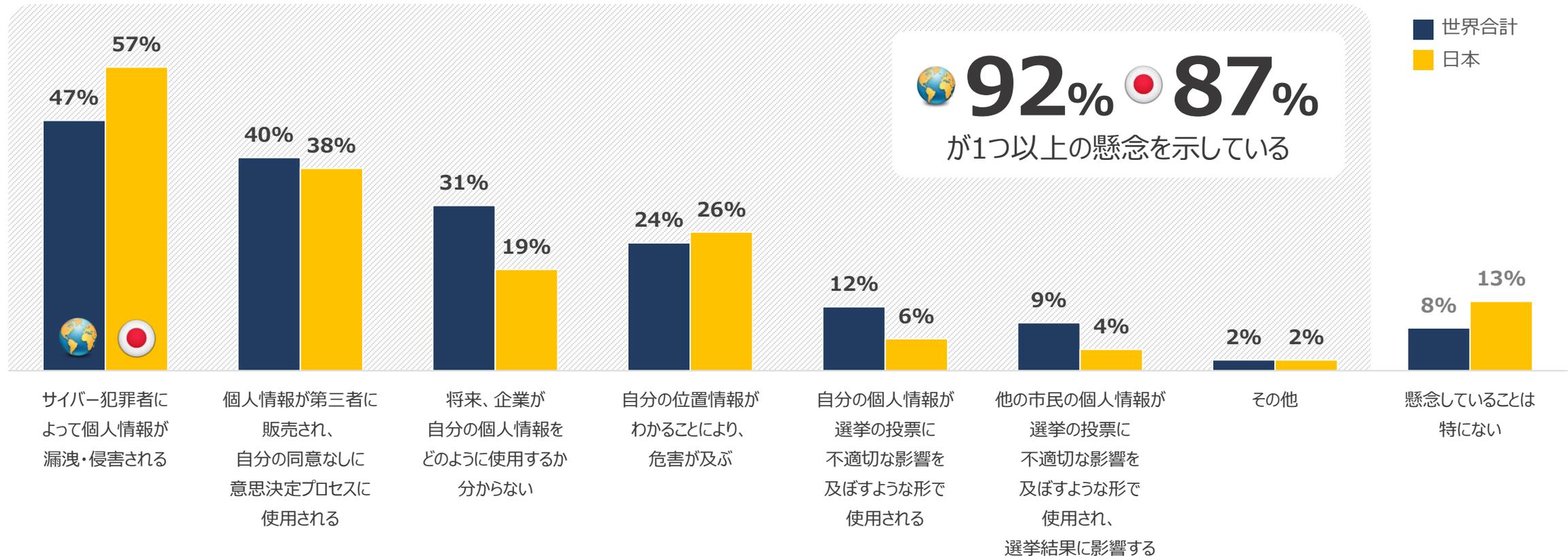


■ プライバシーについて
これまでになく 危機
感を持っている

■ 便利になるならある
程度のオンラインプラ
イバシーのリスクを受
け入れる

日本人がデータプライバシーに関して最も心配していることは サイバー犯罪者によって個人情報漏洩・侵害されること

データプライバシーに関する最大の懸念*
(世界合計 vs 日本)



*回答者は2つまで選択可

日本人は自分ではプライバシーを守れないと感じている

消費者は、企業による個人情報の収集および使用をまったくコントロールできない

自分のプライバシーを守ることは不可能である

すでに個人情報を提供しているため、プライバシーを守るには遅すぎる

回答合計

79%

強く思う

25%

やや思う

54%

64%

15%

49%



世界合計

60%

14%

46%

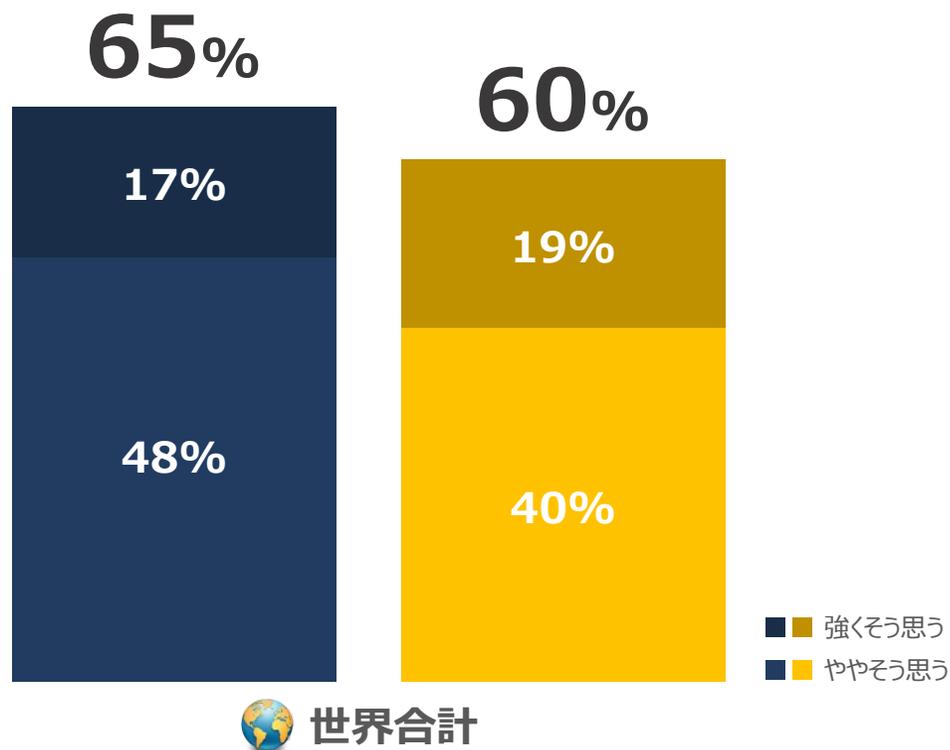
「強く思う」と「やや思う」を合わせた国別割合

	消費者は、企業による個人情報の収集および使用をまったくコントロールできない	自分のプライバシーを守ることは不可能である	すでに個人情報を提供しているため、プライバシーを守るには遅すぎる
オーストラリア	81%	67%	61%
フランス	83%	63%	60%
ドイツ	77%	64%	67%
インド	75%	50%	56%
イタリア	83%	67%	64%
日本	73%	70%	51%
オランダ	77%	67%	64%
ニュージーランド	84%	68%	59%
イギリス	79%	64%	61%
アメリカ	77%	58%	54%

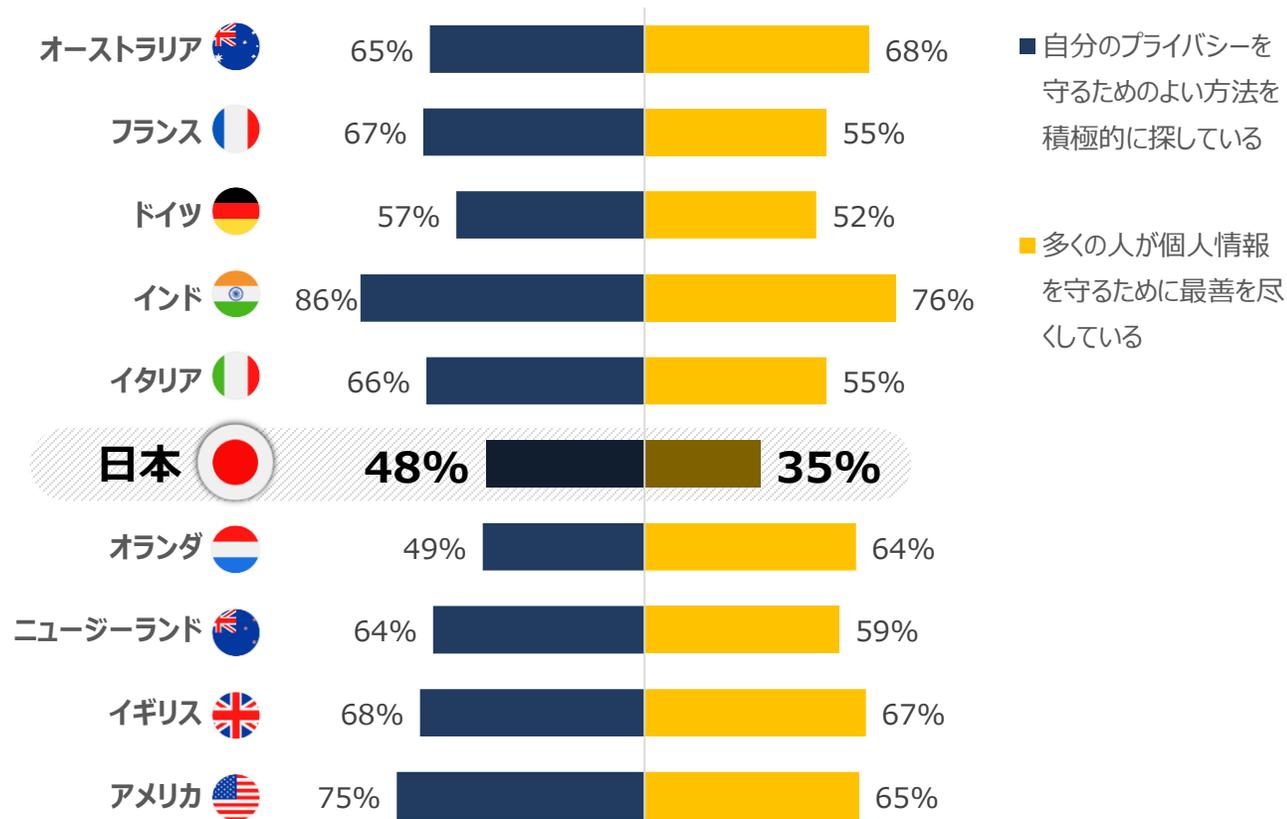
しかし、日本人はプライバシーや個人情報を守るために積極的に行動していない

自分のプライバシーを守るためのよい方法を積極的に探している

多くの人が個人情報を守るために最善を尽くしている



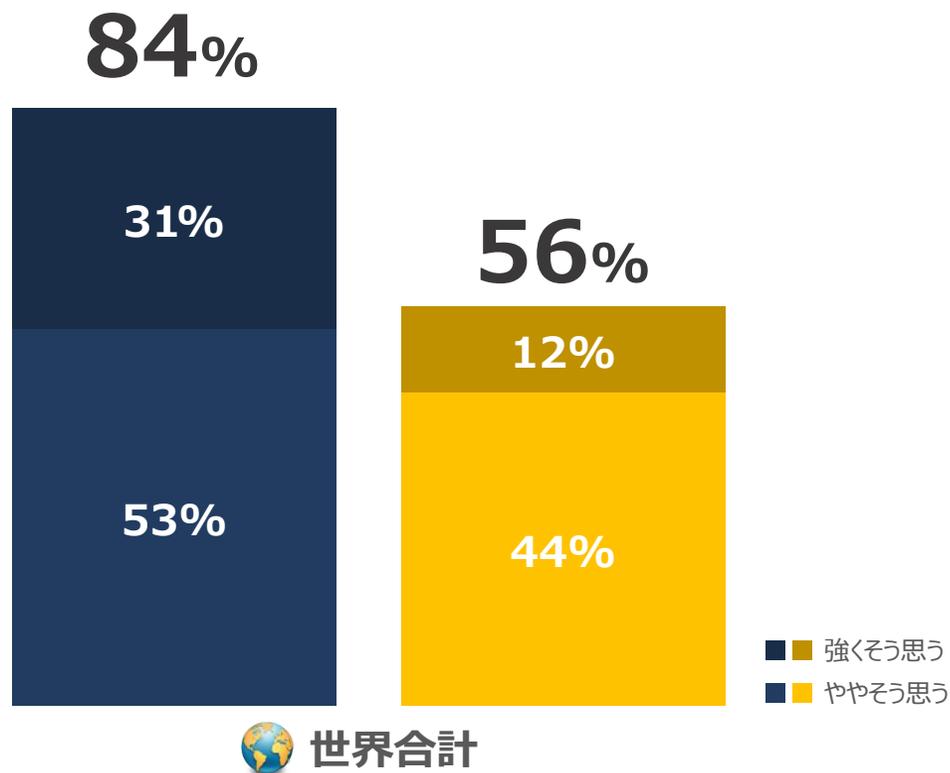
「強く思う」と「ややそう思う」を合わせた国別割合



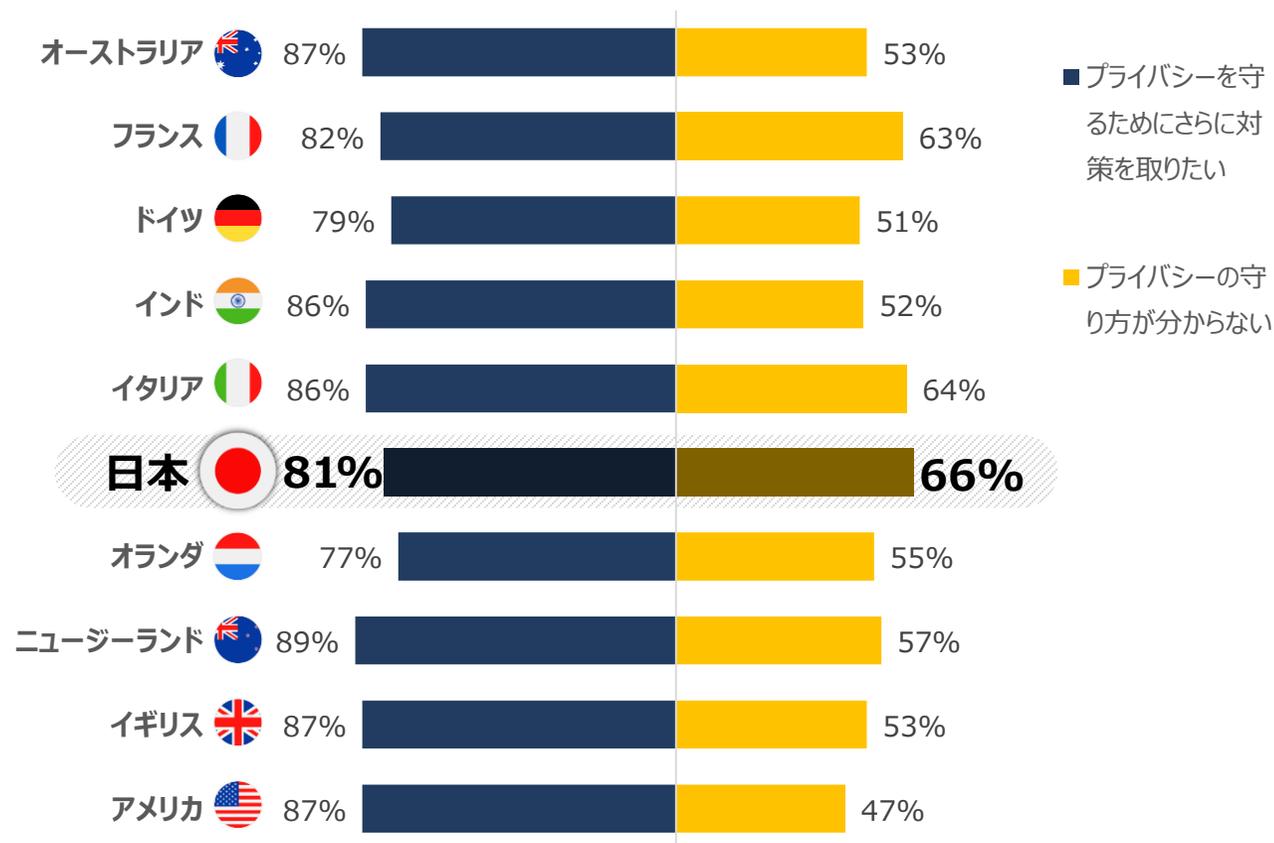
また、日本人はプライバシーを守る方法がわからない人も多い

プライバシーを守るためにさらに対策を取りたい

プライバシーの守り方がわからない



「強く思う」と「やや思う」を合わせた国別割合



■ プライバシーを守るためにさらに対策を取りたい
■ プライバシーの守り方がわからない

組織の責任

日本人は政府が個人情報とデータプライバシーの保護をするべきだと考えている

個人情報およびデータプライバシーの保護について
最も責任がある/ないのは？
(世界合計)

政府

プライバシーおよび情報保護に関する法律を施行し、市民に情報を提供する

24% 42%

企業

収集した情報とその用途に透明性を持つことによって、個人情報を収集すると同時に健全な情報保護を確実に実践する

24% 34%

個人

プライバシーポリシーを読み、信頼できる企業にのみ個人情報を提供する

52% 24%

■ 最も責任がない ■ 最も責任がある

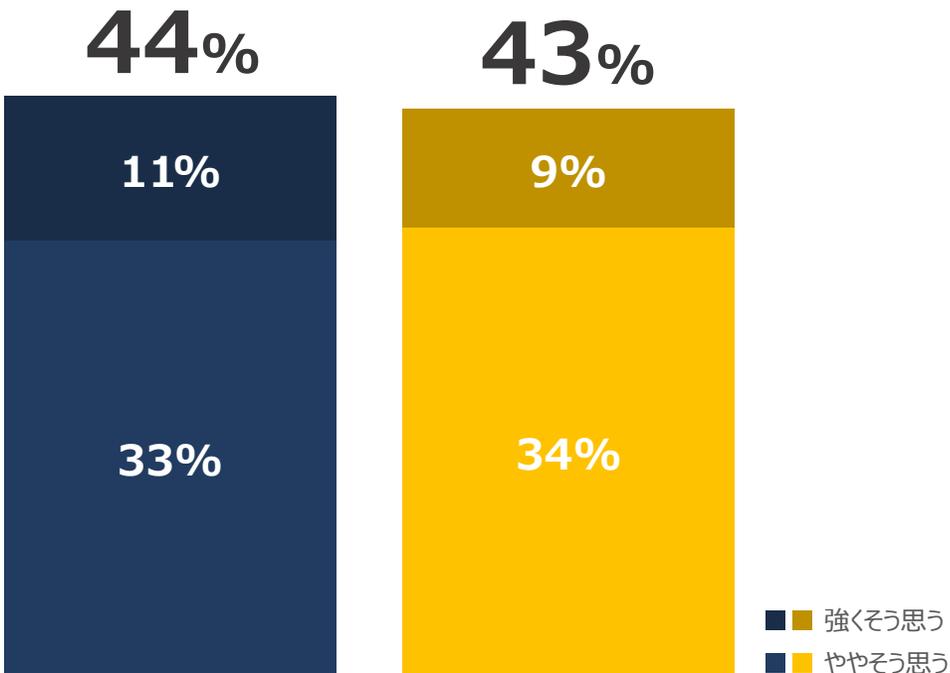
「最も責任がある」国別割合

	政府	企業	個人
 オーストラリア	42%	33%	26%
 フランス	40%	35%	25%
 ドイツ	42%	36%	22%
 インド	42%	32%	25%
 イタリア	41%	39%	20%
 日本	53%	33%	14%
 オランダ	53%	28%	19%
 ニュージーランド	38%	33%	29%
 イギリス	36%	37%	27%
 アメリカ	29%	36%	34%

日本人は個人情報とデータプライバシーが政府によって守られていると感じていない

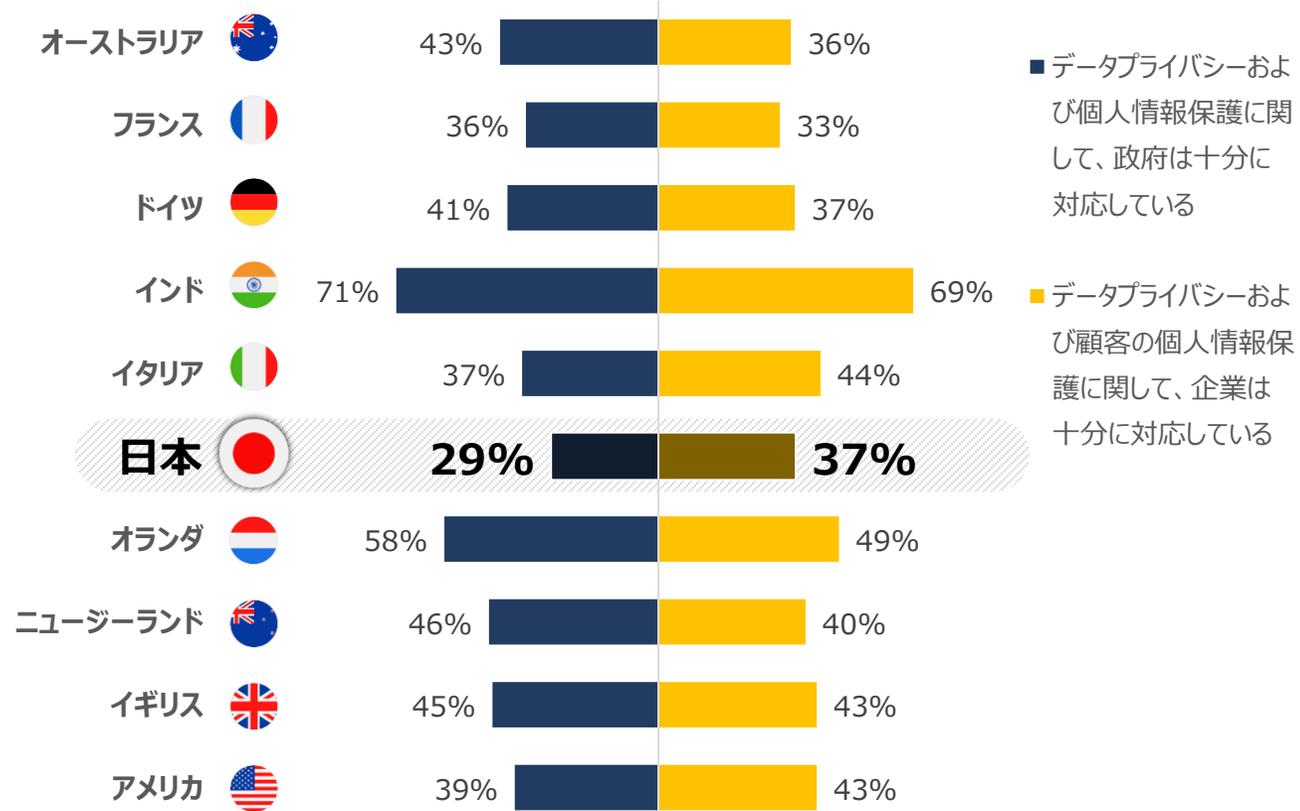
データプライバシーおよび個人情報保護に関して、政府は十分に対応している

データプライバシーおよび顧客の個人情報保護に関して、企業は十分に対応している



世界合計

「強くそう思う」と「ややそう思う」を合わせた国別割合

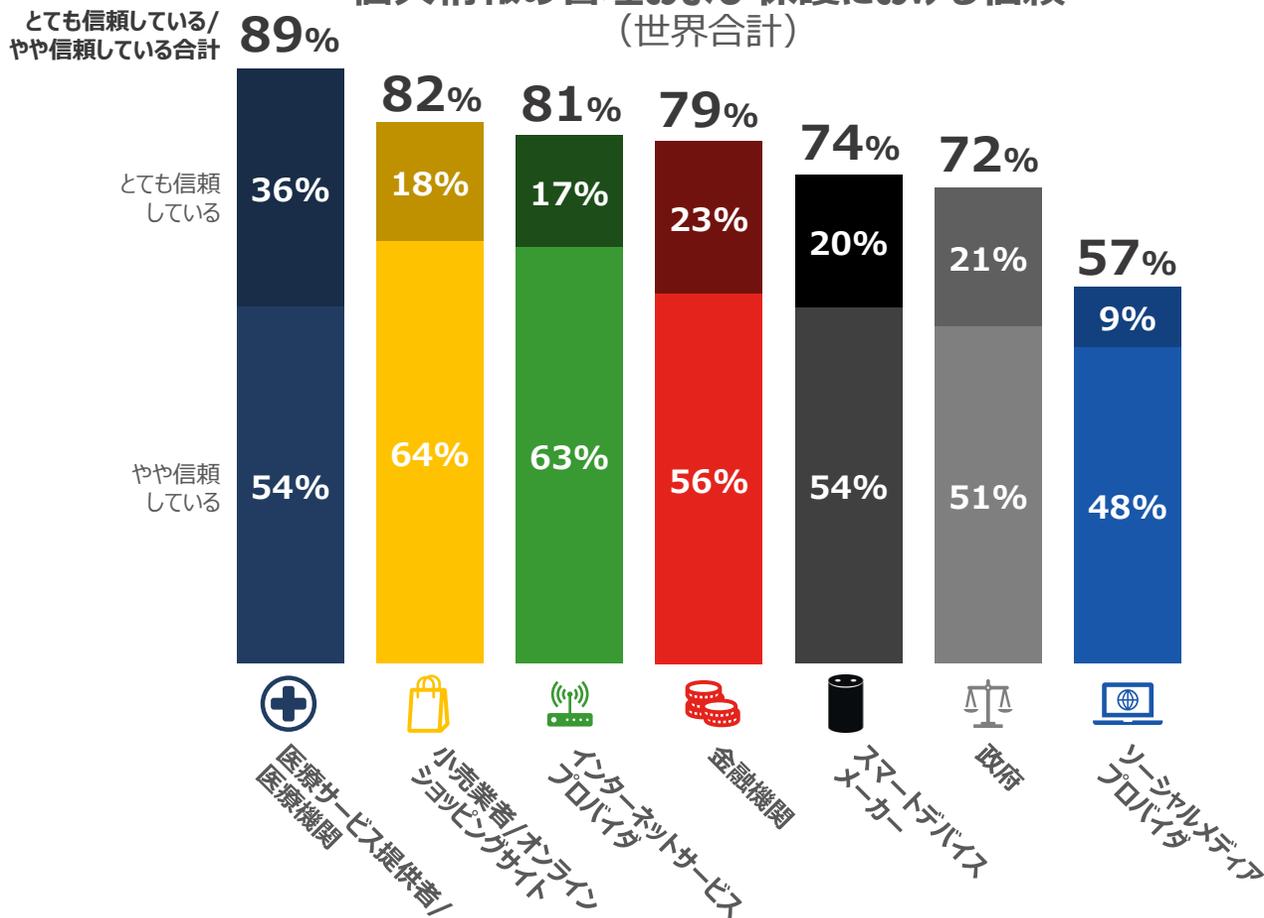


■ データプライバシーおよび個人情報保護に関して、政府は十分に対応している

■ データプライバシーおよび顧客の個人情報保護に関して、企業は十分に対応している

日本人の政府に対する信頼度はソーシャルメディア（SNS）より低い 世界で唯一信頼度がSNSを下回る結果に

個人情報の管理および保護における信頼
(世界合計)



「とても信頼している/やや信頼している」国別割合

	医療サービス提供者	小売業者	インターネットサービスプロバイダ	金融機関	スマートデバイスメーカー	政府	ソーシャルメディアプロバイダ
オーストラリア	88%	79%	80%	76%	70%	69%	49%
フランス	86%	79%	81%	71%	68%	58%	51%
ドイツ	88%	84%	76%	75%	62%	72%	52%
インド	89%	86%	86%	85%	90%	85%	74%
イタリア	92%	85%	85%	77%	88%	84%	74%
日本	88%	77%	77%	85%	80%	63%	66%
オランダ	92%	79%	81%	81%	68%	77%	54%
ニュージーランド	94%	81%	82%	84%	73%	84%	46%
イギリス	93%	85%	80%	80%	72%	62%	48%
アメリカ	84%	82%	77%	81%	73%	66%	53%

まとめとアドバイス

まとめ

-  10か国における2019年のサイバー犯罪被害者は、約3億5千万人
-  日本における2019年のサイバー犯罪被害者は、2,460万人（前年比約25%アップ）
-  10か国における2019年の個人情報盗難被害者数は、約4,600万人
-  日本における2019年の個人情報盗難被害者数は、約500万人（前年から約2倍強へ）
-  多くの人々が個人情報盗難への危機感を持っているが守るための対策がわからない
-  データプライバシーに関して最も心配していることは、個人情報の漏洩・侵害
-  プライバシーや個人情報保護に対しては受け身の姿勢である
-  プライバシーや個人情報保護は政府の責任と考える傾向にある
-  政府に対する信頼度はソーシャルメディア（SNS）よりも低い結果に

サイバー犯罪から身を守るためのポイント

- 不信な電子メールは絶対に開けない
- フリーWi-Fiを利用するときはVPNを使用する
- プライバシーとセキュリティ設定を確認する
- パスワードを管理する
- セキュリティソフトやセキュリティアプリを使用する

Q & A

THANK YOU